岩盤ボーリング柱状図

調査名　砂防指定地内河川　恵木谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.5	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48′ 51.6984″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年11月23日～ 令和3年11月26日	東経	132° 53′ 20.9566″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 244.29m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	12.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD90-型 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
	243.49	0.80		砂混りシルト	褐～暗褐							表土に該当。砂混りシルト状コアを呈する。全体に植物片を含む。
1～5	239.29	5.00		強風化流紋岩	褐～褐灰	w5	h4	E	Ⅶ	d	DM	コアはシルト状～シルト質砂状に風化し、指圧によって容易に変形する。GL-0.80～3.90m間は砂状を呈し岩組織を残しそれ以深は岩組織は不明瞭。岩級区分はDM～DL級。
5～7	236.99	7.30		風化流紋岩	褐～暗褐	w3	h3	D	Ⅴ	c	DH	岩組織を残し、節理も明瞭。岩片～砂礫状コアとして採取。指圧によってコアは崩れる。岩級区分はDH～CL
7～10	234.19	10.10		強風化流紋岩	暗褐灰～褐	w3	h3	D	Ⅴ	d	DH	コアは砂礫～砂状コアとして採取。岩組織は不明瞭である。GL-9.34～9.55mは粘土状の軟質物が挟在する。岩級区分はDH～CL級。
10～12	232.29	12.00		風化流紋岩	暗褐	w3	h3	C	Ⅳ	c	CL	岩片状コアとして採取。上位層と比較して硬質で岩組織も明瞭に残すがコアは指圧によって崩れる。岩級区分はCL～DH級。

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11/24 3.50	15	1.15	15		
		1.45	300		
	19	2.15	19		
		2.45	300		
	12	3.15	12		
		3.45	300		
11/26 4.65	12	4.15	12		
		4.45	300		
	50以上	5.05	50	180	
		5.23	180		
	50以上	6.00	貫入不能		
	50以上	7.00	貫入不能		
	50	7.40	50	300	
		7.70	300		
	30	8.15	30		
		8.45	300		
	50以上	9.10	50	240	
		9.34	240		
	50以上	9.95	50	50	
		10.00	50		
	50以上	11.00	貫入不能		
	50以上	12.00	貫入不能		

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
				66/ケーシング	SW	100	60			
		11/23	50	66/その他（不明含む）	W/M	0	80	1	W少	10
								1	W3 10	7
					S/M	100	80	1	W少	
		11/24	50		W/M			1	W3 10	10
			30		W/D	100	80	1	W3 10	10
		11/25								
		11/26	30			100	80	1	W3 10	10